

75歳という
トシを重ねたら
つけられた！
差別でねえか！



四季彩々

NO. 19 2008年2月号
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部
岐阜市美江寺町2-1 教育会館内
編集責任者 上 宗治
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250

運動・楽しんでみよを公け仲間を多めよう



岐阜県書記長
福井信郎

昨年、「年金者一揆二〇〇七」を成功させ、「仲間ふやし秋の強化月間」でも一定の前進を見ることができました。十一月・十二月の月間では、三十四名の仲間を迎えましたが、その半数以上が多治見支部の奮闘です。何よりも特筆すべきことは、多治見支部が、目標を超過達成したこと。そこから学ぶべきことは多々ありますが、その一つに「目標をやり遂げよう」という執念のこころは、この目標は遠くかすんでいきましたが、今は、段々はつきりし、射程距離内に入ってきたました。目標を棚上げせずに、目標への執念を持ち続けましょう。しかし、残念なことですが、今年に入ってから、先輩や仲間の何人かの方が他界されました。心からご冥福をお祈りすると共に、その方々の志を受け継ぎ、なぐられた方々の二倍三倍の仲間をふやし、運動を

念の大切さがあります。大きく発展させましょう。残された私たちの最大の責務であると思います。「最低保障年金制度実現」「後期高齢者医療制度の中止・撤回」

紙芝居での訴え

これからは起きうる町の被害問題として、難しい自治体交渉、書類による交渉、法律による問題などに対応されています。県交流集会で発表された、紙芝居を下に紹介いたします。

重炭廃坑による被害
一月末に朝日・岐阜の両新聞に大きく報道されました。テレビでも取上げられました。太平洋戦争前後に国策として重炭燃料を大量に掘り生産されてきました。御嵩町は住宅地の約8割が地下に廃坑があり、佐々木宏さんは町役場や県に被害対策、保障を求め活動されています。

② その日、佐々木さんは家に担当職員がやってきた。その

御嵩町の被害

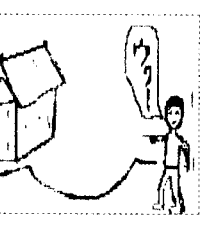
そのものであった。その後、余震もなく何事もなかったかのように終わったのである。外に出てみると畑が大きく陥没していたのだ。「被害だ」佐々木さんは直感した。

④ 2ヶ月経ったときである。町の担当者が佐々木さん宅を来訪し次のように言った。「県当局と相談した結果、完全な復旧は難しい。地盤は埋め戻さないで空洞のまま、基

礎はべた基礎にはしない。家を全体をジャッキアップして柱等の狂いは元通りにしますが、それ以上の修復はしません。これが受け入れられなければ家は直しません」まるで脅しである。

全日本年金者組合 元岐阜支部長 村山 美代司さん 逝去
病氣療養中 2月6日 81歳
岐阜支部年金者組合で多大な貢献をしてこられました。
ご冥福を心からお祈りいたします。

この寒いのに、わざわざ寒いところに行くくなくとも冬はスキーを楽しんでいます。寒いほど引き締まった空気と当たります。目が覚めるような澄んだ純白の世界に宙吊りに移動するリフトに乗ります。あつち、こつちでスキーヤーが無心になつて滑っています。おどおどと滑る人、うまくなり楽しんでる人、急斜面をスイスイと滑る人。子どもや家族連れ、若いカップル、高齢者のカップル、いろんな人が滑ったり、休んだりしているのが一望できます。ここでは差別がありません。初心者の滑りを見ても軽蔑して見て、さげすんだ気持ちで見ている人はいません。うまく滑れるように一生懸命練習したことを思い出します。さらに同じ寒いゲレンデで白い息を出しながら滑っていることに一体感を感じます。▼毎日の生活の中では、なぜこのようにすがすがしい気持ちが生まれないのか。みんなの生活が、バラバラにされているからか、経済という尺度が重視され過ぎ、(収入で)格差が広がっているからか▼と進んでいく自然の中でちっぽけな人間を感じ、そこで楽しみ合えば、人間らしい一体感、連帯感が深まるのになあ。自然とふれ合うウォーキング、登山、旅行、釣りなどを計画して人間の良さ、群れのよさを取りもどそうと思おう。



して翌日ボーリング調査がこなわれ、県より重炭廃坑による被害と認定されたのであった。しかし、話はこれで終わりではない。被害は地面だけではなく(建物)そのものに及んでいた。その周囲の犬走りには数ミリ幅の亀裂が入り、コンクリートの基礎にもひび割れが生じていたのである。さらに点検してみると、柱が傾き床板や壁にも隙間が出来ていた。たのであった。

要するに、金がない、あてはまる法律がないの一点張りであった。予定では、年明けに復旧作業に取り掛かるといいうが具体的な補修の目的は、立てっただけで、柱が傾き床板や壁にも隙間が出来ていた。たのであった。

立候補者募集
岐阜県書記長 若千名
県書記次長 若千名
県会計 一名
県執行委員 若干名
立候補者を受けています。締め切りは大会20日前です。
〒500-8812
美江寺2の1 教育会館内
年金者組合 岐阜県本部

「安心・安全・助け合い」

もうけ中心でない 労働共済に入りました

ばく大な宣伝費にお金をかけず、家計を助ける労働共済です。テレビコマーシャルの多いA保険よりお得になる、あったかい共済です。

火災共済 (一口年60円で10万円の保証)
3000万円の保証で労働共済だと18,000円のかけ金
A損保だと38,000円、2万円おトク

自転車共済 (家族型年 3000円のかけ金)
入院 1日 2000円の保障
通院 1日 1000円の保障

交通災害共済 (年1200円のかけ金)
死亡 200万円
入院 1日3000円

行事スポット保険
200円のかけ金でケガ、入院
1日3000円などもあり

4月に満期 継続の手続きがあります。案内出しますのでよろしくお願ひします。詳しくは各支部担当者、県担当者欄欄まで連絡ください。TEL/FAX 058-389-4336

5月15日
岐阜県年金者組合
第11回定期大会が
開催決定されました。
活動の総括と、運動方針が決められます。同時に、新しい県役員の出発が行われます。県事務所までに次期県役員の立候補届けを募っています。

この寒いのに、わざわざ寒いところに行くくなくとも冬はスキーを楽しんでいます。寒いほど引き締まった空気と当たります。目が覚めるような澄んだ純白の世界に宙吊りに移動するリフトに乗ります。あつち、こつちでスキーヤーが無心になつて滑っています。おどおどと滑る人、うまくなり楽しんでる人、急斜面をスイスイと滑る人。子どもや家族連れ、若いカップル、高齢者のカップル、いろんな人が滑ったり、休んだりしているのが一望できます。ここでは差別がありません。初心者の滑りを見ても軽蔑して見て、さげすんだ気持ちで見ている人はいません。うまく滑れるように一生懸命練習したことを思い出します。さらに同じ寒いゲレンデで白い息を出しながら滑っていることに一体感を感じます。▼毎日の生活の中では、なぜこのようにすがすがしい気持ちが生まれないのか。みんなの生活が、バラバラにされているからか、経済という尺度が重視され過ぎ、(収入で)格差が広がっているからか▼と進んでいく自然の中でちっぽけな人間を感じ、そこで楽しみ合えば、人間らしい一体感、連帯感が深まるのになあ。自然とふれ合うウォーキング、登山、旅行、釣りなどを計画して人間の良さ、群れのよさを取りもどそうと思おう。

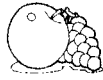
訃報

全日本年金者組合 岐阜県本部
初代県委員長
岡本 靖さん 逝去
病氣療養中 1月28日 80歳
岐阜県年金者組合創立に中心的に尽力され、県年金者活動を確立されました。ご冥福を心からお祈りいたします。

新しい仲間を紹介

12月と1月の組合加入者は22人です。

支部	河野 桂		
岐阜	萩原 明子	岡村 利子	
西濃	前田 幸夫	金子 司郎	
関	野倉 宅	国本 千ヨ	林田 正子
多治見	瀬瀬 浩恭	瀬瀬 麻實	早川 いつ子
	渥美 道子	岡田 照代	
土岐	近藤 優子(山)	加藤 荘六	河村 良一
	瀬瀬 年夫	瀬瀬 敬子	
瑞浪	1名		
恵那	原 美智子	岩井 淳二	加藤 修平
	伊藤 清子		



あの世と、この世の架け橋が年金者組合の笑顔と活動です。仲良くしてね



憲法と暮らしのシリーズ

青い芽をふく 柳の辻に花を召しませ 召しませ花をどこか淋しい 愁をふくむ

「どこかで聞いたことがあるような」と思われる方もあるでしょう。そうです。

終戦の翌年一九四六年岡晴夫が歌った「東京の花売娘」です。なにやら今まで知らなかったハイカラで自由な感じがしました。

雑俎



もたべ自動車にも乗っています。しかしね。

五九歳の男の人が言っています。この年になると安定所には「もう職は一切ない」「今年で今日が始めてや」と観光客の臨時の駐車場の誘導係をして見えた。

働きたくても働くところがない。人間の生活の基本を保障しないこの社会。

資本主義に問題があるでしょうが、せめてサービス残業をなくし、残業を規制し雇用をつくってもらいたい。

この年、新憲法が生まれたことは記憶にのこっています。

しかしこの憲法のおかげで日本は平和になり、衣食住もよくなってきました。

あれから六十二年。日本にはいろいろのことがありました。

一人一人の人生にもいろいろのことがありました。

今ではご飯を腹一杯たべ刺身

文芸・浮世うた

道歌 道歌というものは作者がわからない。昔からいい伝えられたもの。わかりやすく詠んだ短歌。

手や足の汚れは洗えども 心の垢を洗う人なし

落ちぶれて袖に涙のかかるとき 人のこころの奥ぞ知られる

涼しさは新しき畳 伊予すだれ すきやちぢみに色白のたほ

悪きとてただ一筋に乗つるな 洪柿を見よ甘柿となる

永六輔著 「あの世とこの世」より

月光仮面のひとり言

各務原支部 永治幸枝(83歳)



何処の誰かは知らないけれど 誰もが みんな知っている 月光仮面のおじいさんは

正義の味方よ、いい人よ 疾風のように現れて

疾風のように 去って行く 月光仮面は誰でしょう

月光仮面は誰でしょう 月光仮面は誰でしょう

寄稿をお願いします

「自分を残すな」と44歳の人が、自分に言い聞かせているそうです。俳句、短歌、詩、散文、写真、絵手紙などの寄稿をお願いします。

いつも背水の陣で四季彩々を編集しています。

みなさまの原稿のおかげで、どうにか続けています。

さらに楽しく豊かな内容にしていきたいと念じています。お願いします。

送付先 〒509-5301 土岐市妻木町3247の1995 上 宗治方 四季彩々係

(三) 仏像のみしぎ

美濃支部 三井 好機

今回で3回目です。前回

は、釈迦の生存中も入滅後も崇拜の対象は仏像ではなく舍利塔でした。釈迦を人間の姿(像)で現すことをしませんでした。ここまではした。

でも民衆の中には「お釈迦様ってどんな顔をしておられるのだろうか」「お釈迦様の姿を一度でもいいから拝みたい」

「どんなお声をしておられるのか」などなどの声があったらこちらで出るようになって来ました。その民衆に願いに応えるために考えられたのが、お釈迦さんは「太陽のようにありがたいお方」で「温かいお方である」だからその「お姿は日輪(法輪である)」と説きました。

最初の象徴は、空座、足跡などです。インドなどの当時の仏教彫刻家は、仏陀の像を描くようなことはしないで、「座席一對、菩提樹、法輪」などを彫り出して、そこに仏陀がおられる象徴として頭をたれたのでした。

このことにも、がまんができません。これに加えて、ギリシャ、ローマの神像彫刻の大波がインドに伝来してくると抗しきれず、ついに仏像が作られることになったのですが、美術品としてはなく、仏教の教えを、仏像で示されるようになって来ました。

仏陀または聖者の死。入滅。入寂。煩惱を断つて絶対的な静寂に達した状態、仏教における理想的な境地。

ねはん



ですから、仏像は、私たち人間に、何を教える

○何を論じているのか

○どんな方向に導いているのか

○仏像を通して何を学ぶのか

以上を要として仏像が考えられました。

釈迦の教えそのものは目に見えませんが、

それその人間も含めて、山にある樹木にも、また草の陰にも生きている

虫たちにもその教えは存在する。

大げさな言い方になり

ますが「森羅万象皆仏」です。そのような考え

方から、目に見えない釈迦の姿を形として現したのが仏像でしょう。

そして、その仏像を通して、

仏の大きな力、自分自身の成長、いろいろの苦しみ、悩みから救い出してくださるよう

にお祈りし、自分自身も修行するのでしょうか。

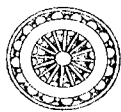
お釈迦様が亡くなる前、多くの弟子たちは嘆き悲しんで釈迦を真ん中にして途方にくれていました。

そのときの様子は、奈良・法隆寺の五重塔にある塑像を見て

ください。 完

涅槃

法輪



菩提樹

